

分野	授業教目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
統合分野	災害看護論	1単位	30時間	3年次前期	看護師長（赤十字救急法指導員） 甲賀純子（こころのケア指導員）

テキスト(発行所)	災害看護学・国際看護学 (医学書院)
テキスト以外の教材、参考図書	災害看護-人間の生命を守る- 黒田裕子監修 (メディカ出版)

学習のねらい	赤十字の理念である「人道」に基づいた赤十字社の活動である「災害看護」の基礎及び災害看護における赤十字看護師としての知識・技術・態度を学び、災害時における赤十字看護師としての役割を認識する。
学習目標	1. 災害の基礎的知識・技術・態度を習得する。 2. 国の災害対策と日本赤十字社の国内外の救護活動を理解する。 3. 救護活動の実際を理解する。 4. こころのケアについて理解する。 5. 災害時における赤十字看護師の役割を理解する。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	1. 災害看護概論 I 2. 災害看護論 II	1) 災害とは何か (1) 災害の定義 (4)時系列 (2) 災害の分類と種類 (5) 災害医療の流れ (3) 特殊災害 2) 災害医療の対象 (1) 災害弱者 1) 災害医療の目的 (1) 災害医療と救急医療のちがい (2) 災害医療の目標 (3) 災害医療におけるニーズと保健医療の目的 (4) 災害医療の評価	講義 DVD: 東京大震災(ドラマ) ワーク *ビジョン・ゴールシートの 記入提出
2回	3. 災害看護論 III 4. 国の災害対策と日本赤十字社の 国内外の救護活動	1) 災害医療における看護の位置づけ (1) 災害看護の特徴 (2) 災害サイクルとフェイズ別看護 1) 我が国の防災体制と防災計画 2) 救護班の派遣と救護物資の流れ 3) 国際救護活動*	講義
3回		1) 赤十字社の災害救護活動の目的と役割 (1) 国内、国際の災害救護活動についてテーマを決め調べる (2) 看護の役割を考える。	第3回: 講義、GW
4回	5. 日本赤十字社の国内外の救護 活動の実際理解	1) 上記内容を発表し、学びを共有する。 2) 防災センター見学 *個人で見学体験する。	第4回: 発表
5回	5. 災害救護活動の実際	1) 災害救護活動の実際 (1) 活動の目的 (2) 救護班の編成 (3) 医療救護活動の範囲 (4) 医療救護活動の内容 (5) 医療救護活動の実際 ・被災病院 ・救護所 ・避難所、巡回診療 ・トリアージ ・こころのケア ・DAMAT	講義 トリアージ: 演習 *こころのケアについてはオリ エンテーションがあります。

6・7・8回	6. こころのケア	<p>1)なぜ、こころのケアが必要なのか (1)こころのケアの目的 (4)心理的支援プログラム (2)赤十字とこころのケア (5)日本赤十字社のこころのケアの (3)Key Word</p> <p>2)こころのケアの対象 (1)こころのケアの対象者(被災者、救護員) (2)災害時のストレスとストレス反応 (3)ASD/PTSDの理解 (4)こころのトリアージ</p> <p>3)こころのケアの活動の実際 (1)コミュニケーション技術 (2)手順 (3)地域、地元との連携</p> <p>4)グリーンケア (1)遺族支援 (2)DMORT</p>	<p>講義 演習(ロールプレイ) *こころのケア指導員による</p>
9回	7. トリアージの実際	<p>1)CSCATTTの理解 2)START式による一次トリアージの実際 3)2次トリアージの実際 4)トリアージタグの記載方法 5)トリアージの実際 6)検証</p>	<p>1個班を編成し 机上訓練の実際 演習</p>
10・11回	8. 外傷処置の実際	<p>1)BLS, ACLS 2)観察の方法の実際(A, B, C, D, E) 3)創傷処置の実際</p>	<p>演習:1個班を編成して行う。 *事前学習し演習に臨むこと *実習室 講義</p>
	9. 3Tに必要な基礎的知識	<p>1)ショックとは 2)意識レベルと意識レベルの観察方法 3)出血量 (1)大腿骨骨折 (2)下腿骨骨折 (3)上肢の骨折 (4)骨盤骨折 4)呼吸、脈拍測定の方法 5)フレイルチェスト 6)熱傷 (1)熱傷範囲の算出方法(成人、小児) (2)熱傷の種類 (3)熱傷の深度 7)クラッシュ症候群</p>	
12・13・14回	10. 机上訓練	<p>1)状況設定問題を解く(急性期) (1)実際に病院に被災者を受け入れる場合どうしますか? (2)ゾーニング (3)役割分担 (4)必要物品</p>	<p>1個班を編成し 机上訓練の実際 グループ(1個班) ○DIG :DisasterImaginationGame *実習室</p>
		<p>2)トリアージの実際 3)検証</p>	
		<p>4)状況設定問題を解く(避難所) (1)避難所を設営してみよう。 5)検証</p>	
15回	11. まとめ	<p>1)災害時における赤十字看護師の役割 2)役割を果たすために必要な能力を考える</p>	<p>グループワーク 講義、公開講座</p>
単位認定の方法	<p>①レポート試験:10点 ②筆記試験:90点 ③出席時間の80%の出席かつ①+②の点数が60点以上で単位認定する。</p>		
受講上のアドバイス	<p>日本赤十字社の国内外における救護活動は、赤十字基本原則にある「人道」に基づいた活動である。また、活動は法的根拠に基づいていることも理解しておかねばならない。災害医療を実施するには、災害医療の知識、技術を習得した熟練者があたるのが望ましいと言われている。平成23年3月11日発災した東日本大震災を経験し、東南海地震が予測される中、被災の体験を検証し、大規模災害対策をどうするのか、国家レベルでも検討されている。多くの被災者を救護し、「防ぎ得た死」を無くすため、災害救護訓練は危機感と緊張感を持ちながら、災害医療に関連部署が一同に会して「顔の見える関係」を築きながら災害救護訓練を様々な手法で行われている。国際及び日本赤十字社は創立の契機でもある災害救護活動に関与する関係機関の中でも重要な立場に位置している。</p> <p>よって、災害救護活動において赤十字看護師としての役割は重要であり、リーダーシップを担うべき立場である。その役割を果たすべく、役割意識を持ち、基本的な知識・技術・態度を学ぶ。1年次の赤十字救急法での体験を想起し講義に臨んでほしい。</p> <p>講義においてテキストは補助的役割に使用するので、事前に目を通して講義・演習に臨んでほしい。また、日々の生活において、日本のみならず、世界中で起きている災害・紛争・事故などに関する出来事に興味関心を持ち、赤十字看護師としての自己の役割についても意識してほしい。</p>		